



平成29年度
全国体力・運動能力、運動習慣等調査

大仙市分析結果

I 実施状況

1 調査の目的

- (1) 子どもの体力の状況を把握・分析することにより、体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、改善を図る。
- (2) 子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象とする児童生徒

国・公・私立学校の小学校第5学年と中学校第2学年の全児童生徒

全国小学校	20,417校	秋田県小学校	202校
全国中学校	10,986校	秋田県中学校	116校

3 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

①実技に関する調査

- ・小学校8種目…握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ
- ・中学校8種目…握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子1500m、女子1000m）、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

※中学校については、持久走と20mシャトルランのどちらかを選択して実施

②質問紙調査

- ・運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

(2) 学校に対する質問紙調査

- ・子どもの体力向上に係る取組等に関する質問紙調査

(3) 教育委員会に対する質問紙調査

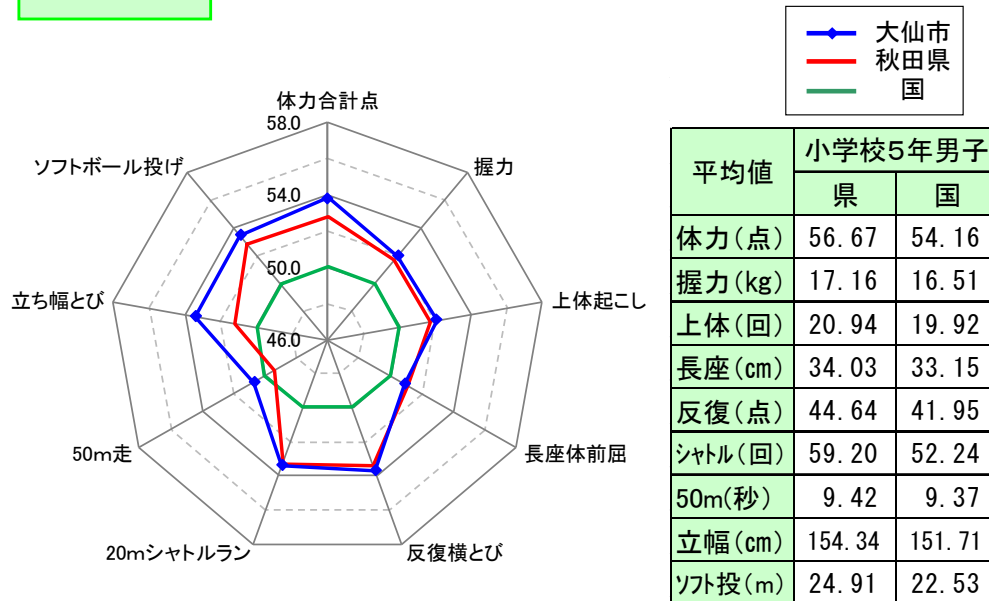
- ・子どもの体力向上に係る施策等に関する質問紙調査

Ⅱ 体力・運動能力調査の結果

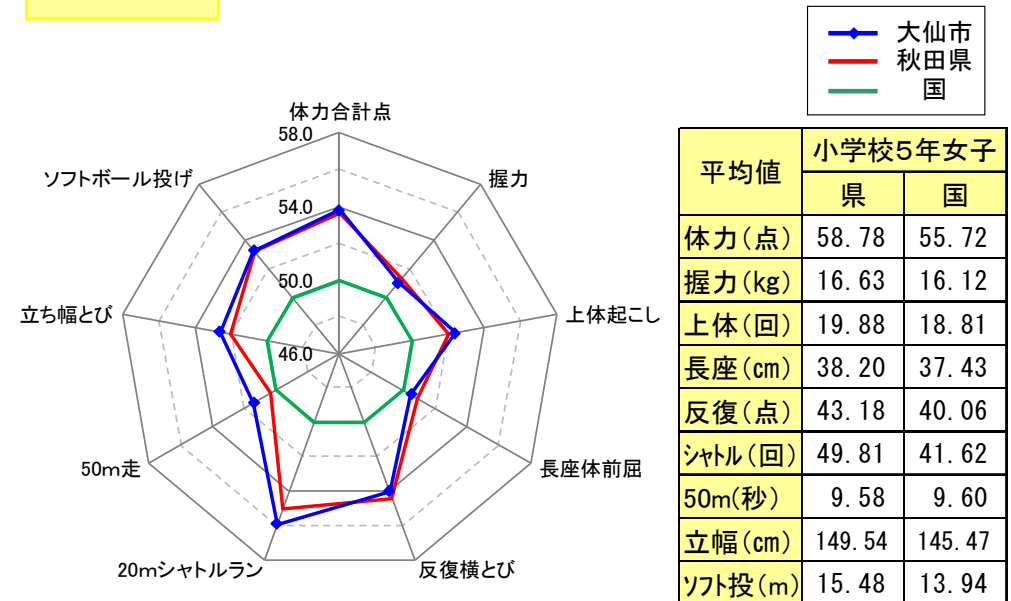
1 小学校の状況

※グラフは各種目、体力合計点を全国平均を50として比較（T得点）
（体力合計点：実技の数値を得点化し合計したもの）

5年男子



5年女子



○小学校5年男子

- ・体力合計点及び8種目中7種目において国や県を上回っている。1種目（長座体前屈）は、県とほぼ同程度である。

○小学校5年女子

- ・8種目中5種目において、国や県を上回っている。1種目（握力）は、県平均とほぼ同程度であり、残りの2種目（長座体前屈、反復横跳び）は、県平均と1ポイント以下の差である。

○小学校5年男女総合評価

- ・総合評価「A」の児童の割合は、男女共に国を（男：約12.8%、女：約10.7%）上回っている。男子は県より3.6%上回っており、女子は県と同じである。

総合評価「D、E」の下位層の割合の合計は、男女共に国及び県よりも少ない。

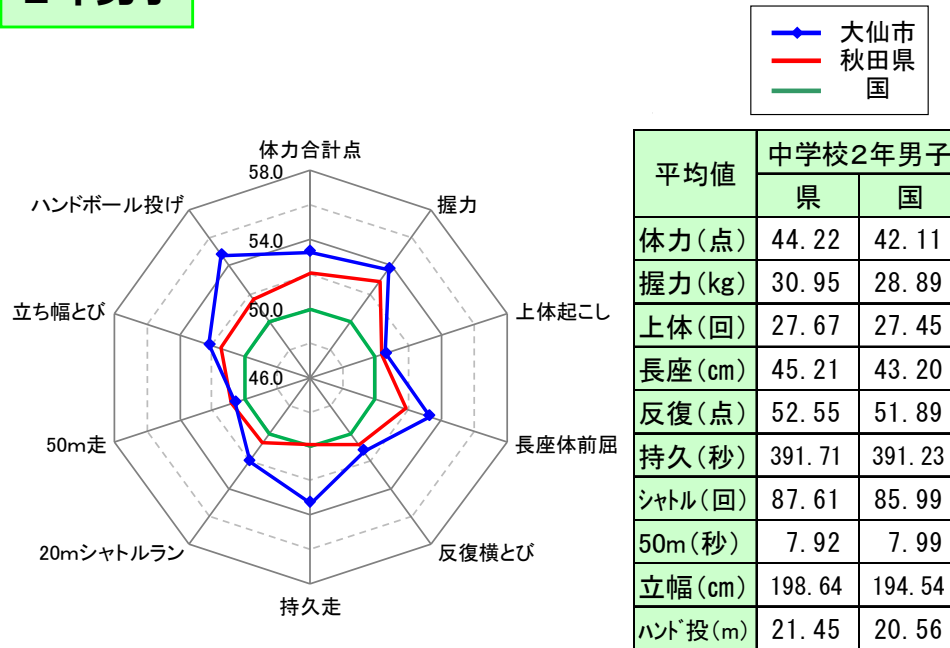
※総合評価…体力テストの合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した評価

Ⅱ 体力・運動能力調査の結果

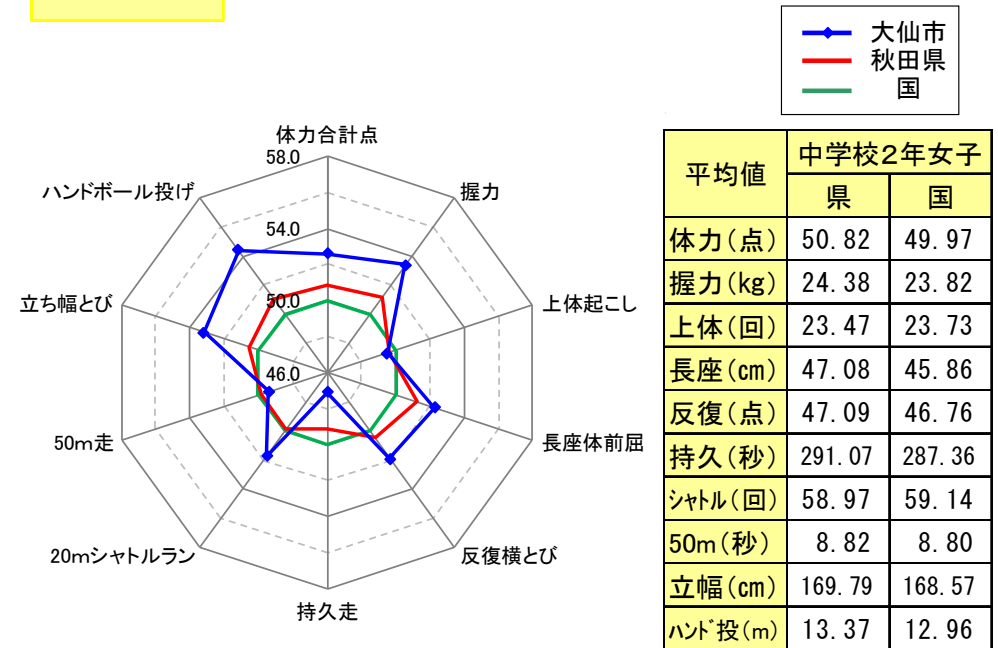
2 中学校の状況

※グラフは各種目、体力合計点を全国平均を50として比較（T得点）
（体力合計点：実技の数値を得点化し合計したもの）

2年男子



2年女子



○中学校2年男子

- ・体力合計点及び9種目中8種目で国や県の平均を上回っている。1種目（50m走）は、国や県の平均とほぼ同程度である。

○中学校2年女子

- ・体力合計点及び9種目中6種目で国や県の平均を上回っている。2種目（上体起こし、50m走）は、国や県の平均とほぼ同程度であるが、持久走（3校が選択）は、国や県の平均を下回っており課題である。
- ・総合評価「A」の生徒の割合は、男女共に国を（男：約7.3%、女：約10.5%）上回っている。総合評価「D、E」の下位層の割合の合計は、男女共に国や県より少ない。

※総合評価…体力テストの合計得点の良い方からA B C D Eの5段階で評定した評価

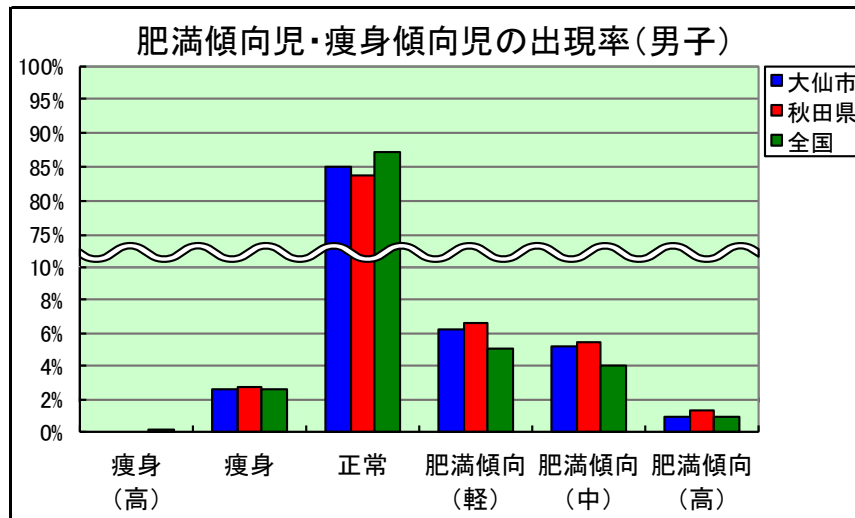
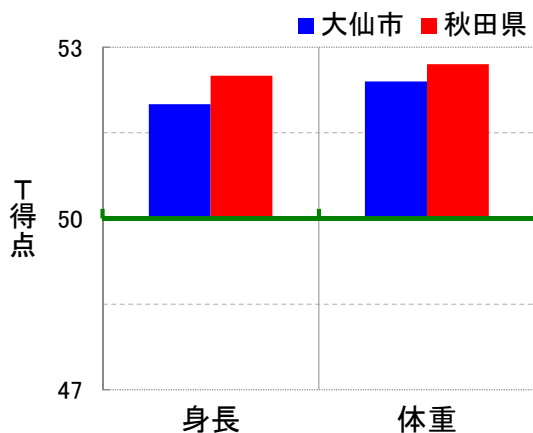
Ⅲ 体格調査の結果

1 小学校の状況

身長と体重のT得点のグラフ

※ T得点（全国平均値を50としたときの偏差値）

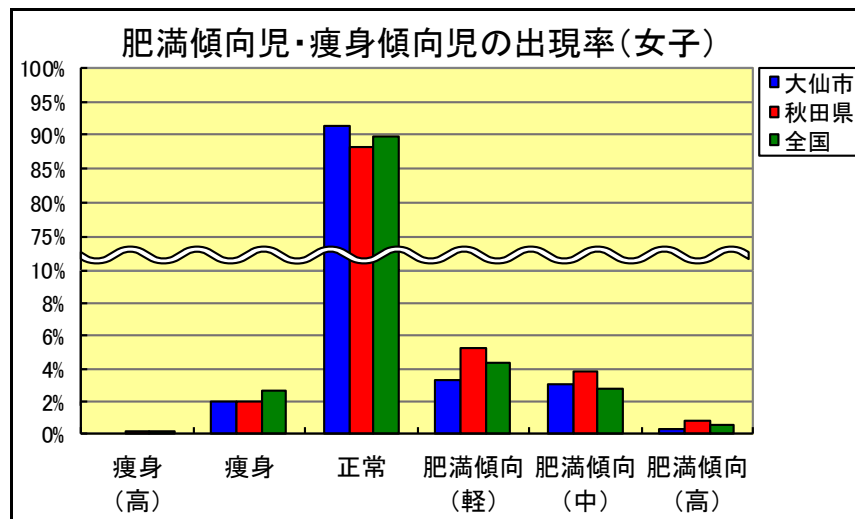
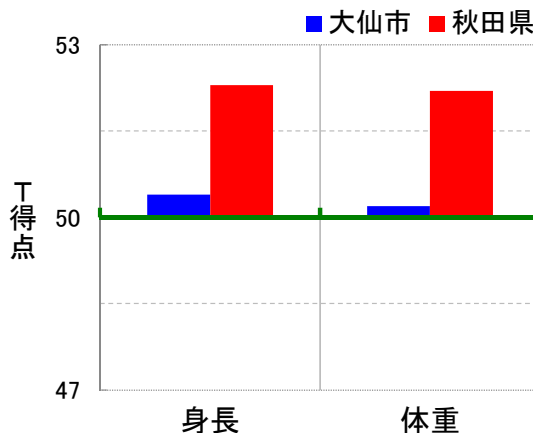
5年男子



○小学校5年男子

- ・身長は約2.0ㇿ、体重は約2.4ㇿ全国を上回っている。
- ・痩身・肥満傾向出現率において、全国より「正常」が2.4ㇿ少なく、「軽度肥満」が1.1ㇿ、「中度肥満」が1.2ㇿ、「高度肥満」が0.1ㇿ多い。

5年女子



○小学校5年女子

- ・身長は約0.4ㇿ、体重は約0.2ㇿ全国を上回っている。
- ・痩身・肥満傾向出現率において、全国より「正常」が1.7ㇿ多く、「軽度肥満」が1.0ㇿ、「高度肥満」が0.3ㇿ少なく、「中度肥満」は0.2ㇿ多い。

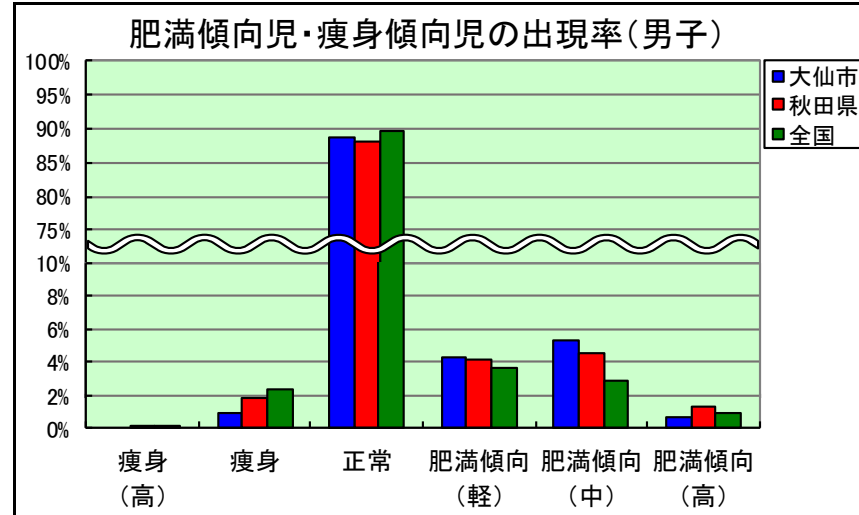
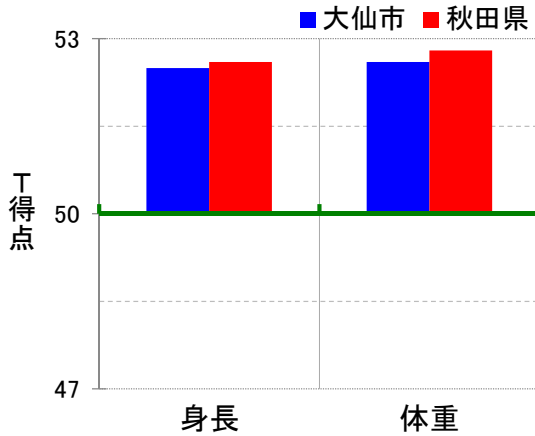
Ⅲ 体格調査の結果

2 中学校の状況

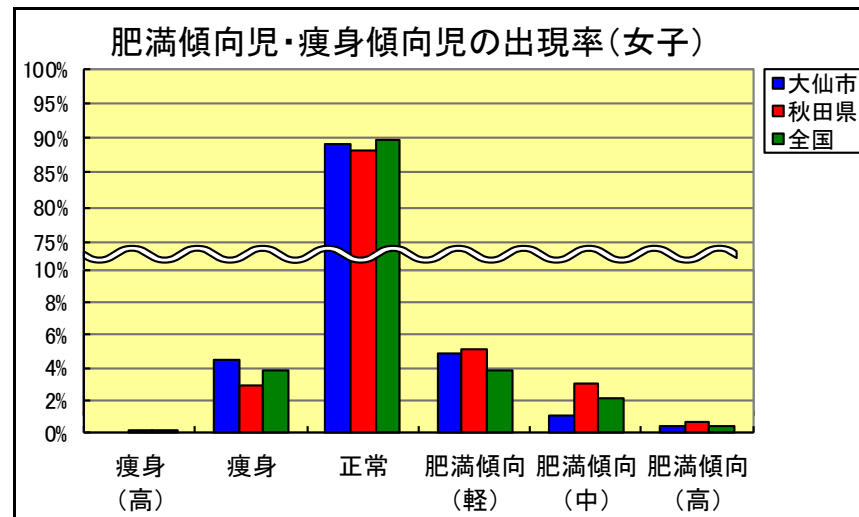
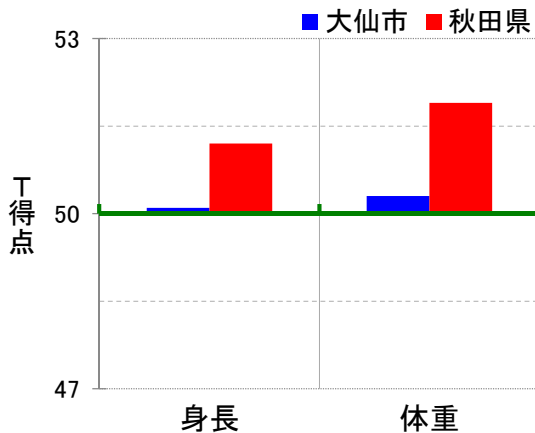
身長と体重のT得点のグラフ

※ T得点（全国平均値を50としたときの偏差値）

2年男子



2年女子



○中学校2年男子

- ・身長は約2.5㊦、体重は約2.6㊦全国を上回っている。
- ・痩身・肥満傾向出現率において、全国より「正常」が1.2㊦少なく、「軽度肥満」が0.6㊦、「中度肥満」が2.5㊦多く、「高度肥満」は0.3㊦少ない。

○中学校2年女子

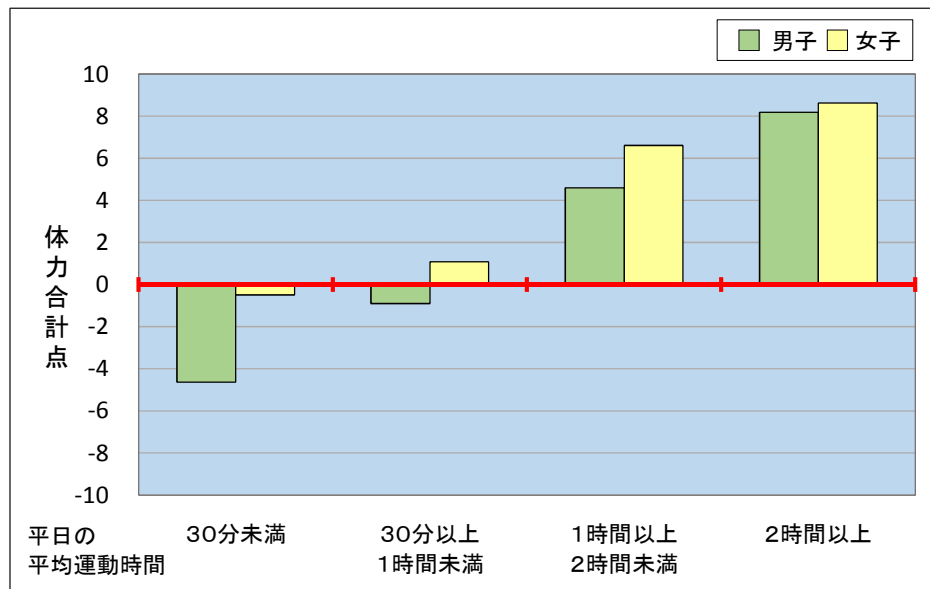
- ・身長は約0.1㊦、体重は約0.3㊦全国を上回っている。
- ・痩身・肥満傾向出現率において、全国より「正常」が0.6㊦少なく、「軽度肥満」が1.1㊦多く、「中度肥満」は1.1㊦、「高度肥満」は0.1㊦少ない。

IV 運動習慣、体格と体力との関連

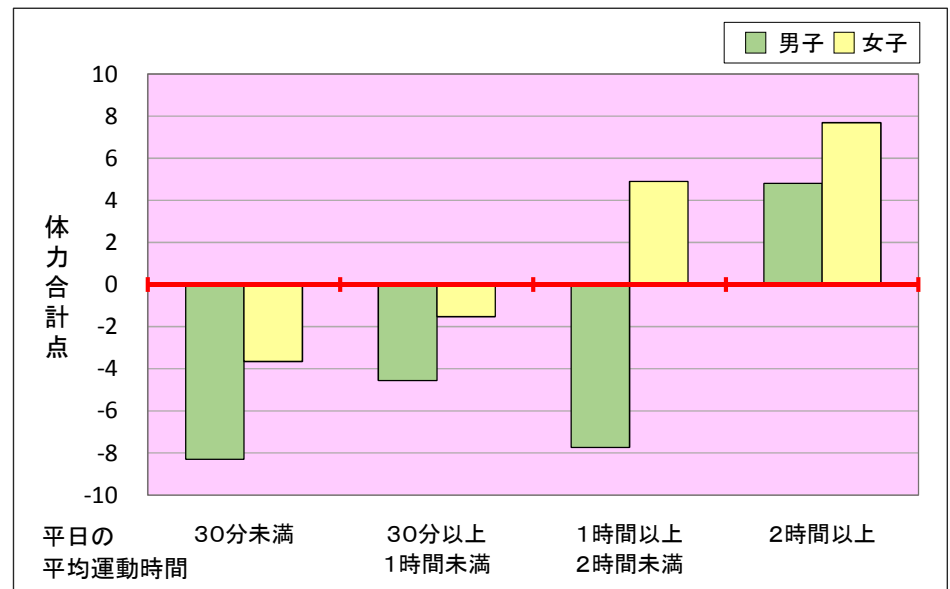
① 平日の平均運動時間と体力との関連

Q 学校や学校外で1日の運動やスポーツをしている時間を合計するとおおよそどのくらいしていますか（学校の体育の授業を除く）※5日間の平均

大仙市 小学校5年生



大仙市 中学校2年生



— 国平均

○小学校男女共に、平日の平均運動時間（体育を除く）が長くなるにつれて体力合計点が高くなっている。特に、2時間以上運動している場合、男女共に全国平均を約8割上回っている。

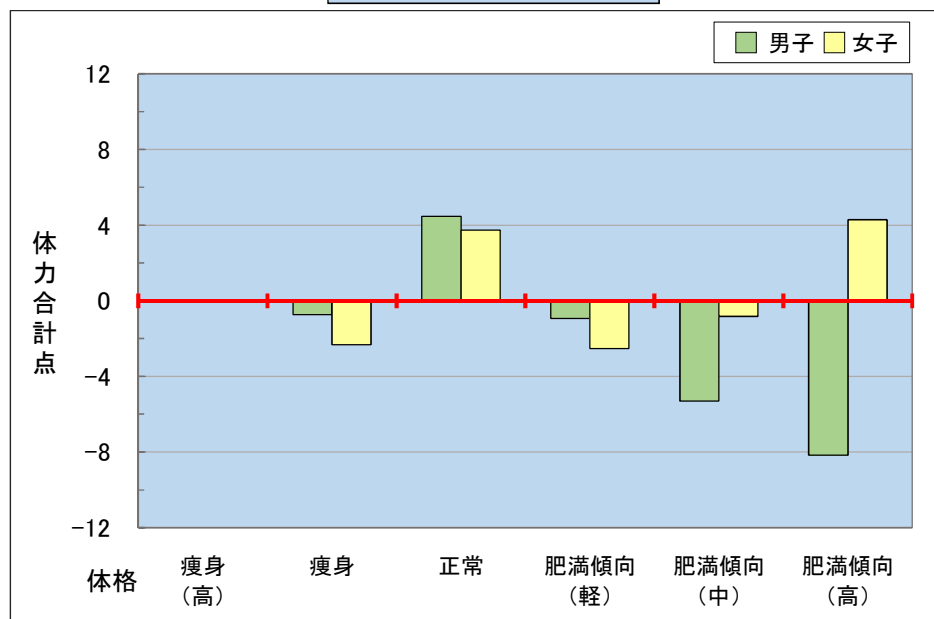
○中学校女子は、平日の運動時間（体育を除く）が1時間を超えると体力合計点は顕著に高くなる。特に、2時間以上運動している場合、男子は全国平均を約5割、女子は約8割上回っている。

IV 運動習慣、体格と体力との関連

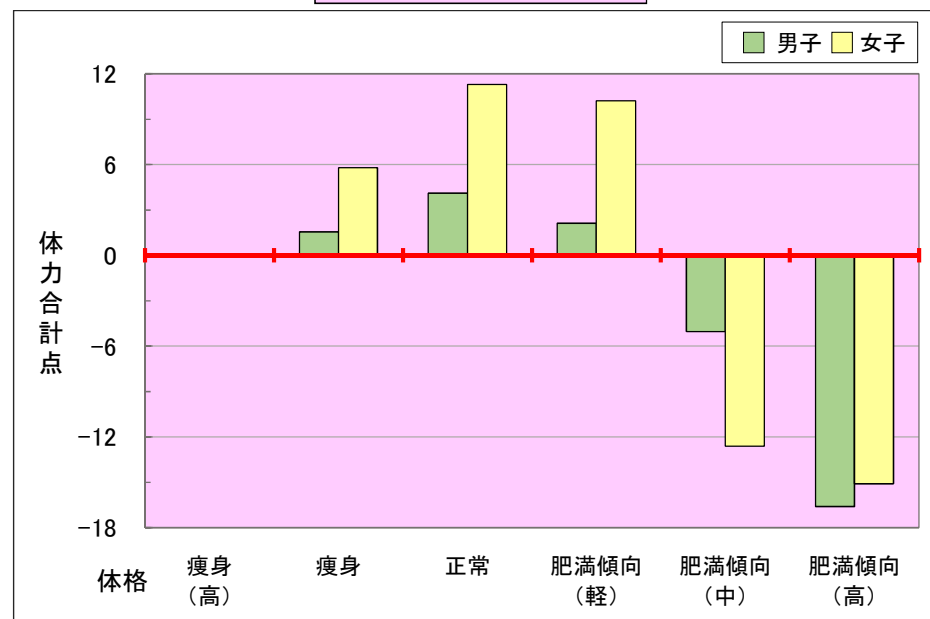
② 痩身・肥満傾向と体力との関連

肥満度	判定	肥満度	判定
50%以上	高度肥満	-19.9 ~ 19.9%	正常
30 ~ 49.9%	中程度肥満	-29.9 ~ -20%	痩身
20 ~ 29.9%	軽度肥満	-30%以下	高度痩身

大仙市 小学校5年生



大仙市 中学校2年生



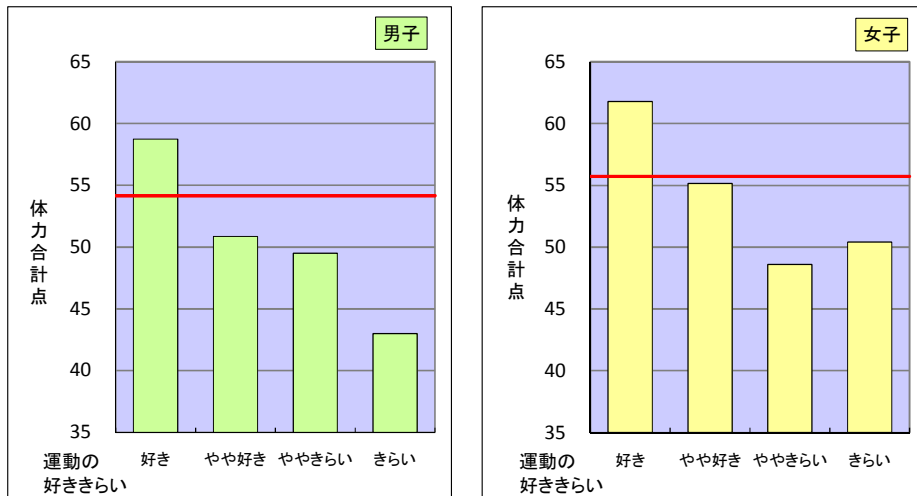
- 小学校では、男女共に「正常」の児童が体力合計点が高く、全国平均を上回っている。（女子の「肥満傾向（高）」の体力合計点は一人のみの値）
- 中学校では、男子は「正常」の生徒が、女子は「正常」「肥満傾向（軽）」の生徒の体力合計点が高く、全国平均を上回っている。
- ◎中学校では、男女とも「痩身」「正常」「肥満傾向（軽）」の生徒の体力合計点が全国平均を上回っている。

V 運動、スポーツに関する意識と体力との関連

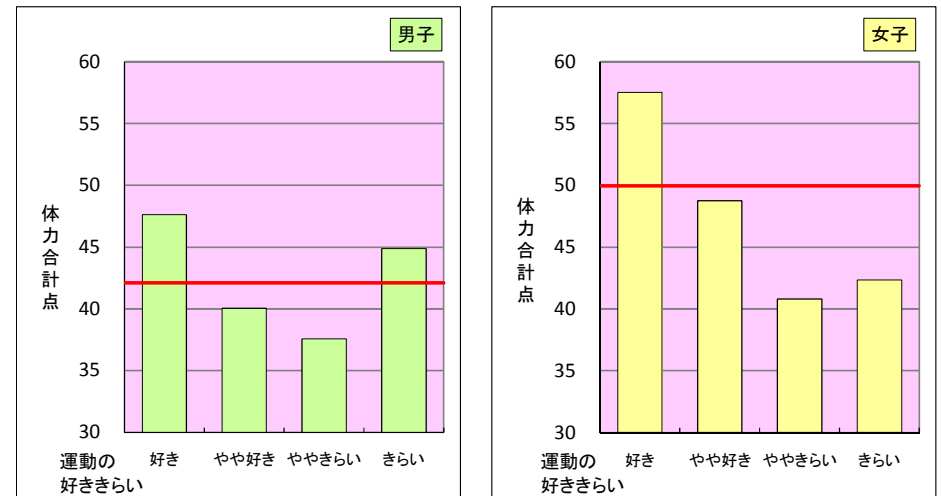
①運動が好きな児童生徒と体力との関連

Q 運動やスポーツをすることは好きですか

大仙市 小学校5年生



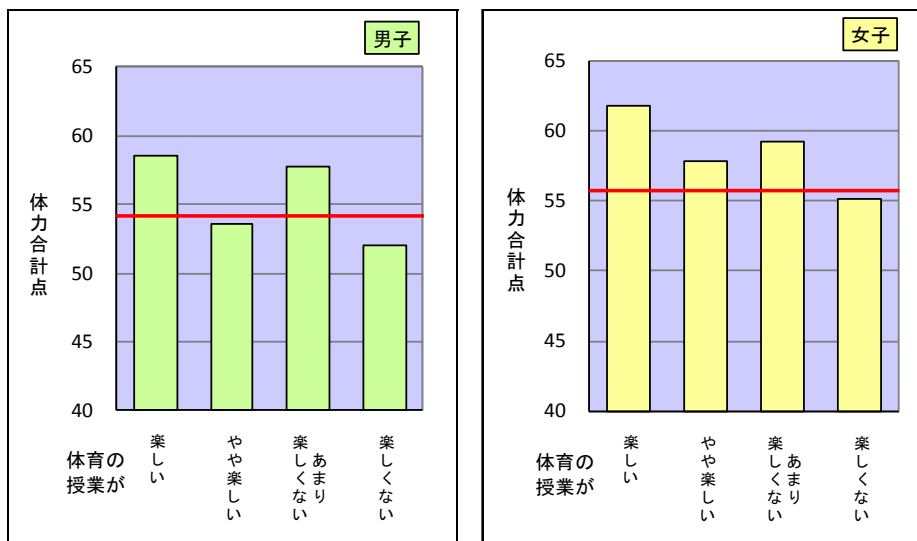
大仙市 中学校2年生



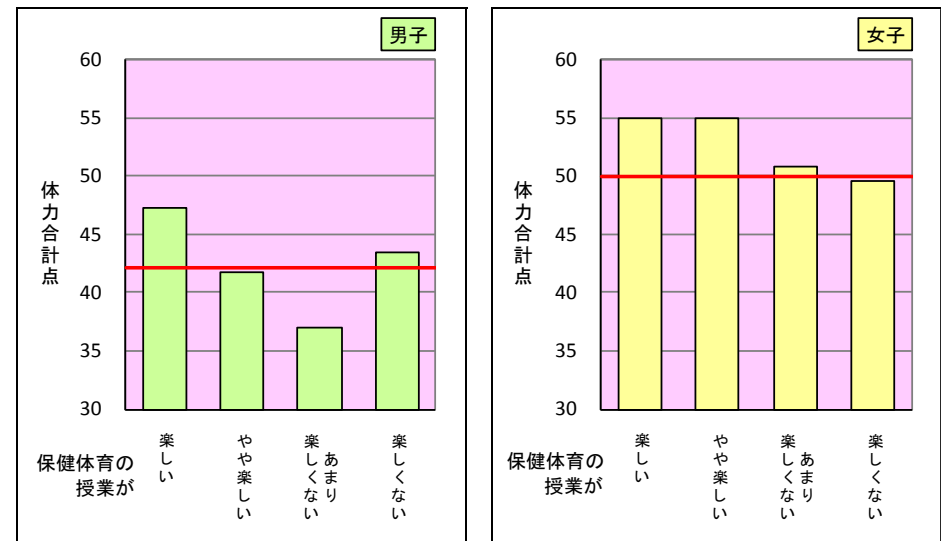
②体育の授業が楽しい児童生徒と体力との関連

Q 体育／保健体育の授業は楽しいですか

大仙市 小学校5年生



大仙市 中学校2年生



運動やスポーツが好きな児童生徒、体育の授業が楽しいと答えている児童生徒の体力合計点が高く、全国平均を上回っている。

V 運動、スポーツに関する意識と体力との関連

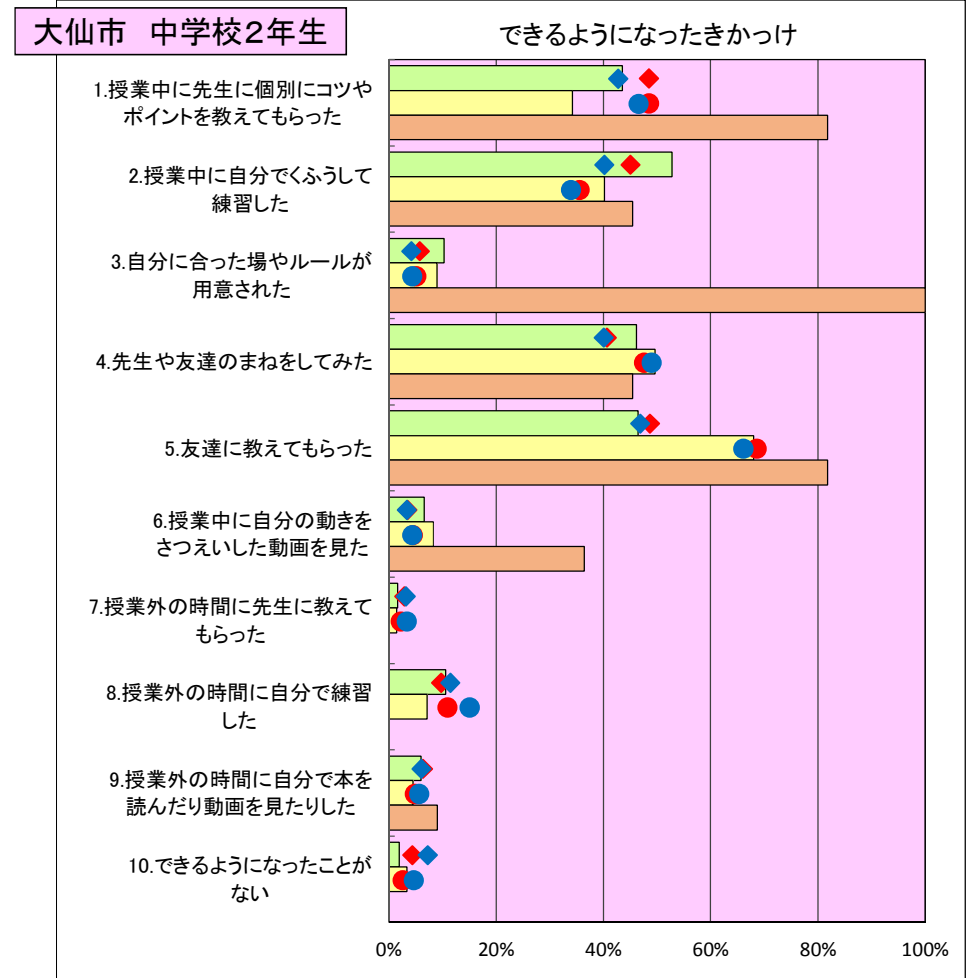
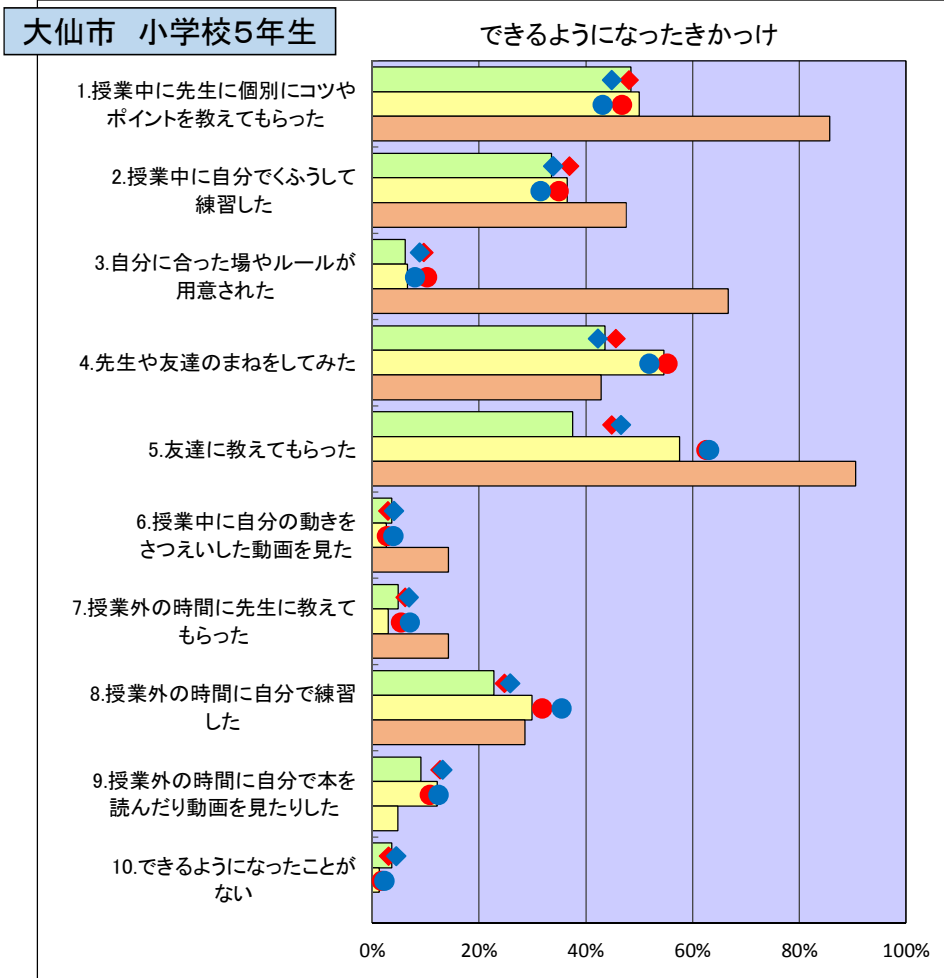
③児童生徒が「できなかったことができるようになった」きっかけと学校の取組内容との関連

Q「できなかったことができるようになった」きっかけはどのようなものがありましたか（複数回答）

Q努力を要する児童生徒にどのような取組をしていますか（複数回答）

各選択肢を選んだ児童生徒及び学校の割合

■市 男子 □市 女子 ■学校質問紙 ◆県 男子 ●県 女子 ◆国 男子 ●国 女子



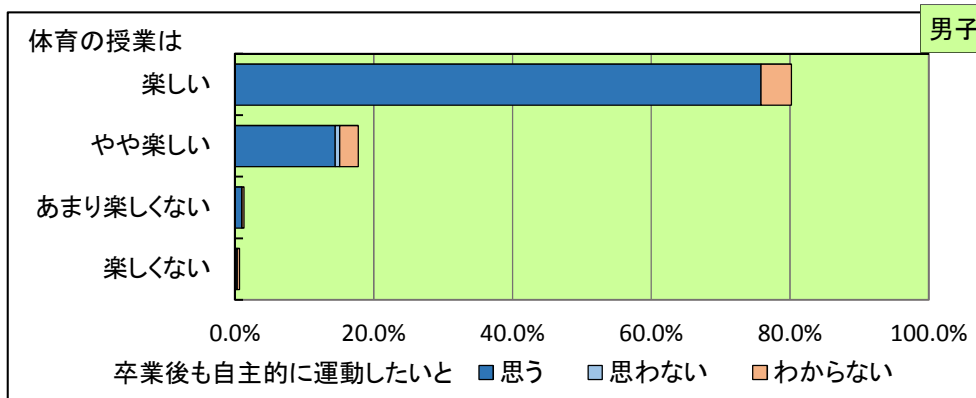
○小・中学校男女共に、「友達に教えてもらった」「先生や友達のまねをしてみた」「授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」の割合が多く、学校の取組内容と合致している。全国や県と同じような傾向が見られる。ただし、「自分に合った場やルールが用意された」の割合は、児童生徒と学校側とにずれが見られる。

V 運動、スポーツに関する意識と体力との関連

④ 体育の授業の楽しさと、卒業後も自主的に運動やスポーツをしようとする意欲との関連

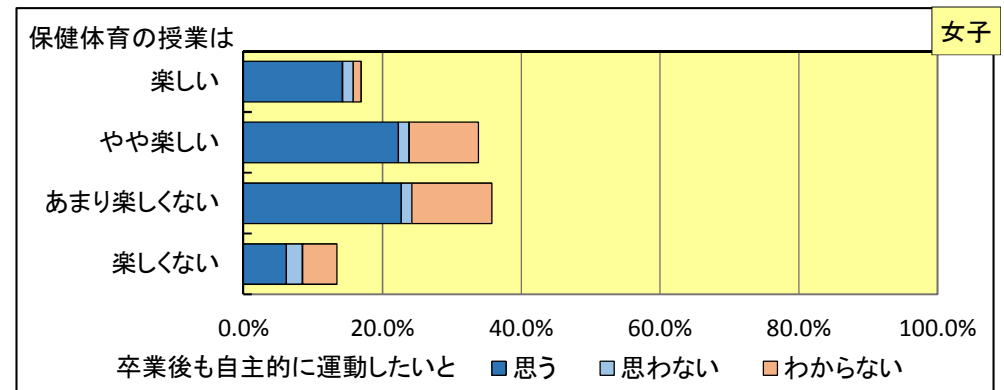
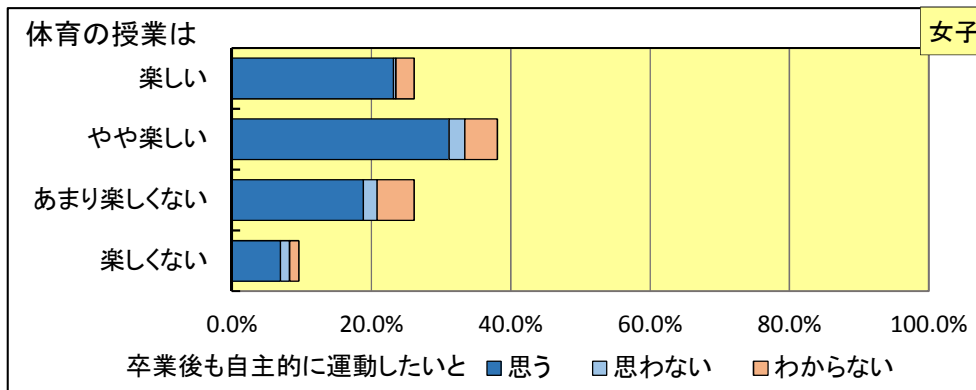
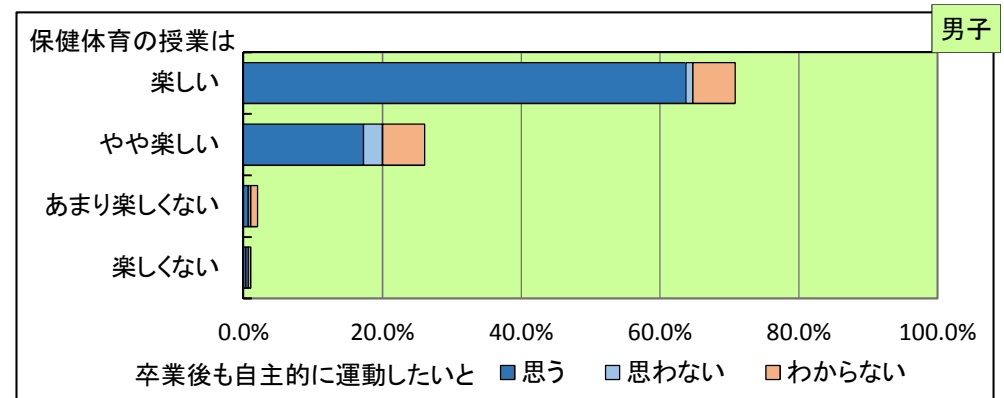
大仙市 小学校5年生

- Q 体育の授業は楽しいですか
Q 中学校でも、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいですか



大仙市 中学校2年生

- Q 保健体育の授業は楽しいですか
Q 中学校卒業後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいですか



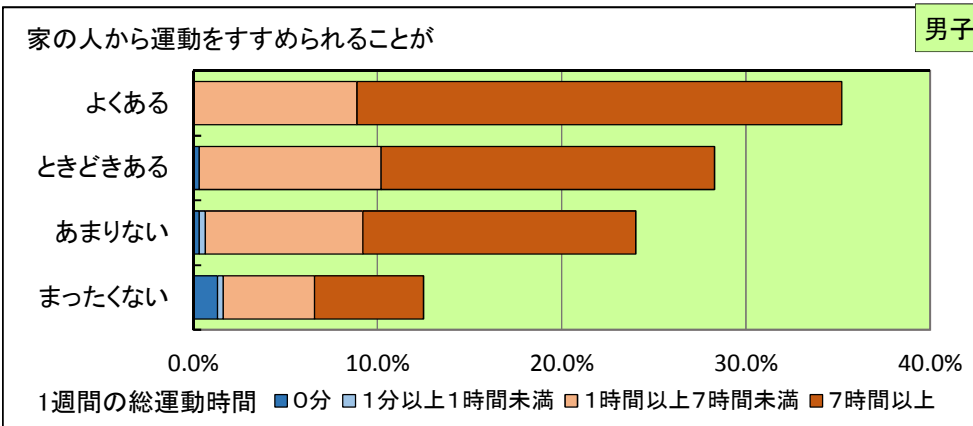
○小・中学生の男女共に、体育の授業が「楽しい」と回答した児童生徒ほど、卒業後も運動やスポーツをしようという意欲をもっている割合が高い。

V 運動、スポーツに関する意識と体力との関連

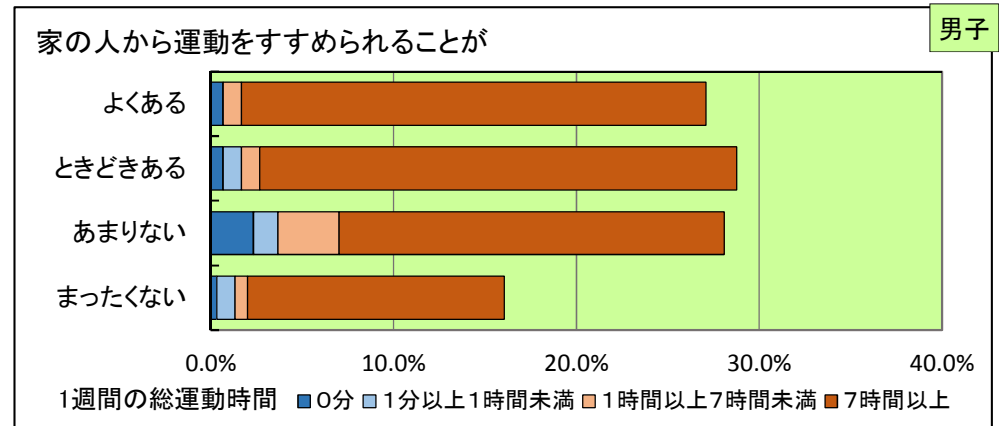
⑤家の人からの運動やスポーツのすすめの有無と1週間の総運動時間との関連

Q 家の人から運動やスポーツを積極的にすすめられることはありますか

大仙市 小学校5年生

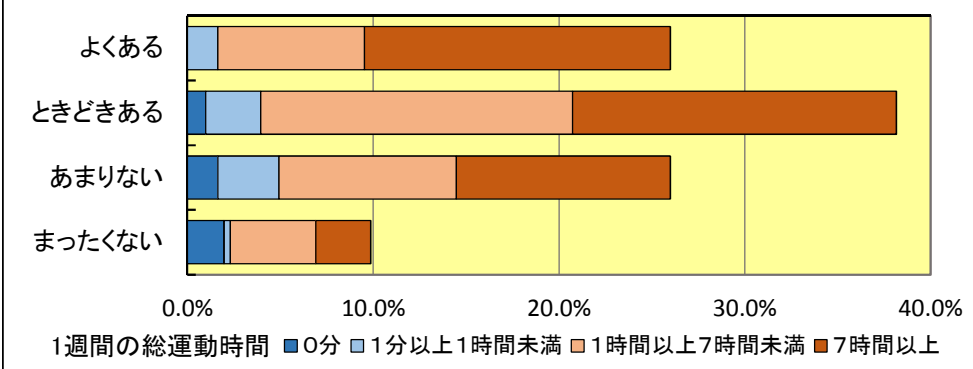


大仙市 中学校2年生



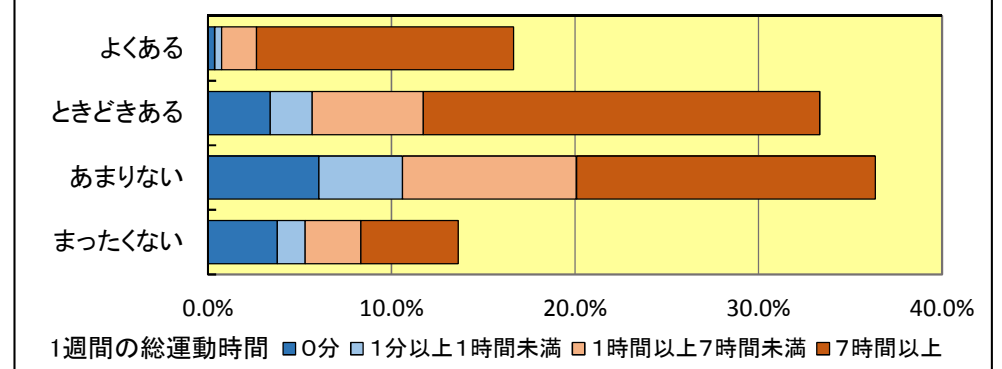
家の人から運動をすすめられることが

女子



家の人から運動をすすめられることが

女子



○小・中学校の男女共に、家の人からの運動やスポーツのすすめが「よくある」「時々ある」と回答した児童生徒の1週間の総運動量が多い。男子については、「よくある」と回答した児童生徒の運動量が顕著である。

VI 考察

1 本市の傾向

<体力・運動能力調査> (※全国平均を50として比較)

◎総合評価「A」の児童生徒の割合は、小・中学校の男女共に全国や県を上回っている。総合評価「D、E」の児童生徒の割合は、小・中学校の男女共に全国や県より少ない。

○体力・運動能力において小学校の男女及び中学校の男子は、全ての項目で全国を上回っている。

△中学校女子は、3項目で全国や県を下回り、課題である。

<体格調査>

○小・中学校の男女共に、身長と体重のT得点（全国平均値に対する相対的位置を示す）は全国を上回っている。

△肥満傾向出現率において、「正常」の児童生徒は、小学校の男子、中学校の男女が全国より若干下回っており、小・中学校の男子で「肥満傾向」の児童生徒が全国より若干多い。

<質問紙調査>

○運動やスポーツが好きな児童生徒、体育の授業が楽しいと感じている児童生徒の割合は全国を上回っている。

○授業で「できなかったことができるようになった」きっかけと学校の取組内容とが概ね整合している。

○体育の授業が楽しいと感じている児童生徒は、卒業後も運動やスポーツをしようという意欲をもっている。また、家の人からの運動やスポーツのすすめが運動量の増加につながっている。

2 改善に向けて《痩身や肥満傾向改善のために》

◇授業における運動量の確保と意欲付けを図る取組の実施

○運動種目に応じた総運動量（準備運動、スキル運動、本運動）を考慮した授業及び単元計画を作成し実践する。

○ドリルゲーム、タスクゲーム、メインゲームの組み合わせの工夫、有効な用具の使用、場の工夫等により、楽しくスキルを身に付けたり高めたりする授業を構築する。

◇食習慣・生活習慣確立のための継続的な取組の実施

○食育や健康に関する授業などを通して生活の見直しをさせ、正しい食習慣や基本的生活習慣の確立を図る取組を推進する。

○家庭や地域と連携して、子どもの正しい食習慣や生活習慣の確立を図る。

◇運動やスポーツに対する意欲を高める取組の実施

○体育的行事や業間、放課後を活用した継続的な運動等を全校体制で取り組んだり、地域の体育的行事に全校で積極的に参加したりするなど、家庭や地域と連携して、生涯にわたって運動やスポーツをしようとする意欲を高める。